

Social&Environmental Report

社会・環境報告書

2010



環境報告 P.25
例えば、鳴尾生産事業部の
環境への取り組みは…



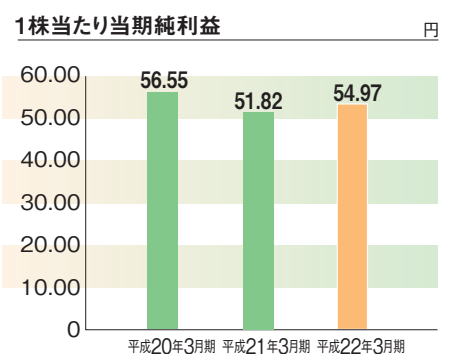
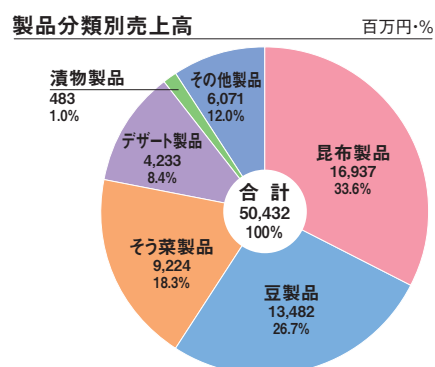
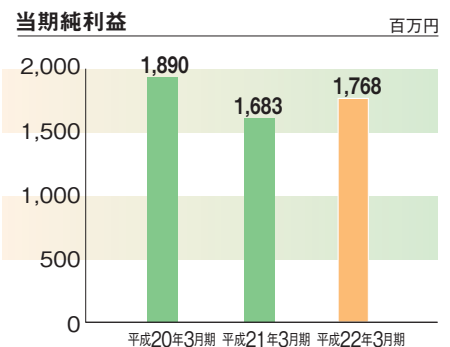
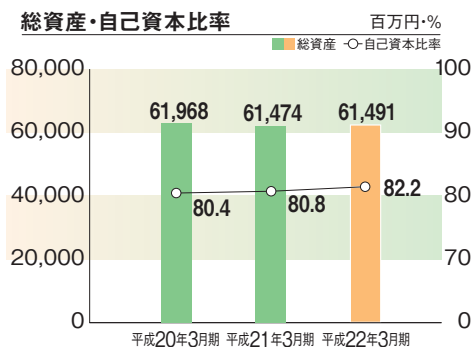
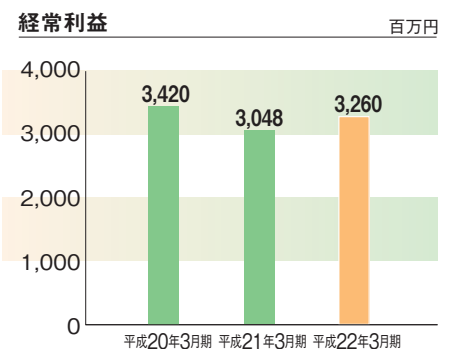
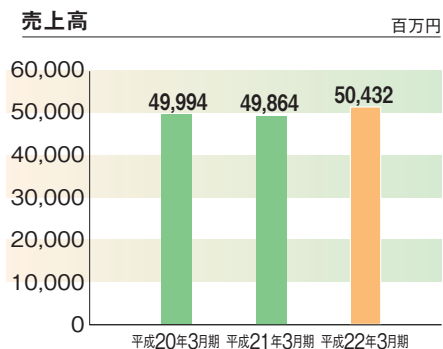
社会性報告 P.6
「あんしん」のための…
例えば、原産地自主表示



フジッコ

会社名	フジッコ株式会社
代表取締役社長	福井 正一
本社所在地	神戸市中央区港島中町6丁目13番地4
事業内容	昆布製品、豆製品、そう菜製品およびデザート製品等を主体とした食品加工業
創業	昭和35年11月7日
資本金	65億6,653万円
従業員	2,217名(フジッコグループ全従業員)
工場	兵庫3、埼玉1、千葉1、神奈川1
物流センター	兵庫1、埼玉1
営業所	全国25拠点
連結子会社	フジコン食品株式会社、フジッコワイナリー株式会社、味富士株式会社、フジッコフーズ株式会社

業績の推移(連結)



目次

ごあいさつ	[01]
フジッコの心	[02]
コンプライアンスの徹底	[03]
コーポレートガバナンスの確立	[04]

社会性報告

■「ふじっ子だから安心」と言われ続けるために…	[05]
・ふじっ子あんしんシステム	
・「あんしん」のための製造現場の取り組み	
■おいしさと安心に関する取り組みの歴史	[08]
■社会貢献活動	[09]
・食育活動	
・昆布ミネラル国際支援	
・献血運動への協力	
・山岸八郎奨学基金	
・ベルマーク運動への参加	
・障害者の雇用率について	
■ステークホルダーとのコミュニケーション	[13]
・お客様とのコミュニケーション	
・株主の皆様とのコミュニケーション	
・投資家向けIR活動の充実	

環境報告

■環境基本方針	[15]
・環境基本理念	
■環境管理活動の状況	[16]
・環境マネジメント組織	
・環境への負荷	
・環境目的・目標	
■事業所による環境管理活動	[20]
■環境に関するご指摘	[31]
■環境保全に関する取り組みの歴史	[32]

対象範囲 【対象期間】2009年4月1日～2010年3月31日
なお、一部の報告は、2010年4月以降の内容も含まます
【対象組織】フジッコ株式会社および国内関係会社

ごあいさつ

フジッコグループは、創業以来「あんしんのおいしさ」を永遠のテーマとし、食の安全に取り組んでまいりました。そして、お客様やお取引先様、株主の皆様の温かいご支援、ご指導を賜り、2010年11月にはおかげさまで創業50周年を迎えます。

創業して50年になるわけですが、当グループでは、これを1つの節目として捉えるだけでなく、これからの未来に向けて、創業の精神である「創造一路」に込められた、「健康志向」「技術革新」「お客様第一主義」の3つの精神を受け継ぎ、これまで以上に社会から信頼される企業を目指してまいります。

さて、近年を振り返って見ると、3R、カーボンフットプリント、生物多様性といった環境用語が以前にもまして目につくようになりました。地球温暖化、生態系の破壊など、環境に対する関心は年々高まっており、日々のニュースで見聞きすることができます。しかし、地球環境問題は決して別世界のことでありません。製品の生産から流通、消費の過程では、CO₂、NO_xなどの放出があり、環境問題への対策は、当グループにおいても、積極的に取り組まなければならない課題と考えております。また、食を提供する企業として、多くの皆様に食に関する知識を持っていただけるよう、食育活動といったことにも取り組んでいく必要があると考えております。

したがって、当グループでは、あんしん・安全な製品の提供を通じて、広く社会に貢献していくことを事業の中心に据えておりますが、事業分野はもちろんのこと、地球環境への配慮、社会貢献活動といった分野にも取り組み、お客様の幸せな食生活、地球環境の保全、循環型社会の推進に貢献していきたいと考えております。

毎年当社は、フジッコグループの社会貢献面と環境面の活動をまとめた「社会・環境報告書」を発行し、今回は2009年度のCSR活動をまとめた「社会・環境報告書2010」を発行いたします。当グループでは、本報告書を皆様との重要なコミュニケーションの場として捉えており、今後もさらなるCSRのレベルアップを図っていきたくと考えております。どうぞ忌憚のないご意見、ご指導をいただけますようお願いいたします。



2010年8月
フジッコ株式会社
代表取締役社長

福井 正一

フジッコの心

－共生と感謝の喜びを込めて－

社是

創造^{ひと}－路^{すじ}

Always Be Creative

私たちの合言葉「すこやかフジッコ」

私たちは、食品企業の従業者として、温故知新の精神と医食同源の原点を見つめ、次の通り宣言します。

【三つのお約束】（一を「ひとつ」と読みます）

- 一、私たちは、安心の品質と価値を誠実に提供します。
- 一、私たちは、自然の恵みの尊さを誠実に演出します。
- 一、私たちは、本当のおいしい味を誠実に追求します。

【三つのアタック】

- 一、技術向上、基礎力の習得に努めます。
- 一、挑戦意欲、高いレベルを目指します。
- 一、迅速正確、進んで物事にあたります。

【七つの実行】

- 一、全社目標と部門目標の一致を常に心がけます。
- 一、部門目標と個人目標の一致を常に心がけます。
- 一、報告・連絡・相談を徹底します。
- 一、相互の協力と連携を徹底します。
- 一、正確な処理と確認を徹底します。
- 一、社内・社外の情報を正確に把握し、積極的に行動します。
- 一、世界の環境と資源の問題に注目し、積極的に行動します。

私たちは、この「すこやかフジッコ」を心の支えとして、法とルールを守り、力強く革新と成長の道を歩んでまいります。

用語の解説

【フジッコの心】とは

社是「創造一路」と私たちの合言葉「すこやかフジッコ」の総称です。

【Always Be Creative】とは

社是「創造一路」の英文表記で、常に創造的であれということを意味します。

【すこやか】とは

「健やか」とも書きます。健康イメージそのものです。それを社業展開の柱に据えたのが、私たちの合言葉「すこやかフジッコ」です。

【温故知新（おんこちしん）】とは

「ふるきをたずねて新しきを知る」意味で論語の教えです。古い物事や生活を調べ、そこから新しい知識や見解を引き出そうという意味です。

【安心の品質と価値】とは

安心は提供する側の私たちの自信、愛用して頂くお客様の満足感、中間の流通関係の方々の信頼感が一つになって得られます。品質と価値の果実が安心です。

【自然の恵みの尊さ】とは

自然は天然の全てを表します。空気・水・土などの風土と産物に敬意をもって接します。産物の種の健全な保持に貢献し、長所を最大限に引き出すことが私たちの務めです。

コンプライアンスの徹底

フジッコグループの倫理基準

フジッコグループは、お客様の信頼にお応えしていくため、コンプライアンスを重要な経営課題と捉えています。コンプライアンスへの対応をより明確にするため、「倫理基準」を定めております。グループの役員および職員は、本基準を誠実に遵守し社会的責任を果たすことに努めてまいります。

倫理行動基準

【①法令の遵守】

- 国内外の法令および規則、社内規則を遵守し、公序・良俗を大切にして、高い倫理観のもとで行動します。

【②人権の尊重】

- 人権を尊重し、人種、信条、宗教、国籍、年齢、性別、門地、心身などに基づく差別をしません。
- 性的嫌がらせおよび嫌がらせと誤解される発言、行動を認めません。
- 権力、地位を不当に利用した嫌がらせを認めません。

【③安全、安心な製品への取り組み】

- 食品製造業に携わる者として、常に安全で安心な製品づくりに取り組みます。

【④顧客取引先との関係】

- 信義、誠実、公正、透明な対応を心がけ良好な関係の構築に努めます。
- 公正かつ自由な競争を維持、促進することに努めます。
- 取引先等の役員に対し贈賄行為、不正な利益の供与を行いません。また、受けることはありません。

【⑤職場環境の確保】

- 労働関係法令を遵守し、安全・衛生で健康に十分配慮した、働きやすい職場環境の確保に取り組みます。

【⑥守秘義務、知的財産権の尊重】

- 会社の機密情報を許可なく第三者に漏洩したり、不正に使用しません。
- 顧客、取引先など第三者の機密情報も会社の機密情報と同様に扱います。
- ソフトの不正コピーなど第三者の知的財産権を侵害しません。

【⑦公私の厳密な区別】

- 会社の利益に反する行為は行いません。
- 会社の資産や経費を会社の利益に反して使用することはありません。

【⑧反社会的勢力への姿勢】

- 反社会的勢力および団体に対しては、毅然とした態度で臨み、反社会的行為には一切加担しません。

【⑨地球環境保全への配慮】

- 地球環境の保全に役立つことを考え、有害な行動をとりません。

【⑩社会的責任の遂行】

- 良き企業市民として、よりよい社会の実現にむけ積極的に社会貢献に努めます。
- 様々な関係者の理解および支持を得られるよう積極的に企業情報を開示し、透明性の高い経営を行います。

コーポレートガバナンスの確立

業務執行・経営の監視

取締役会は、取締役16名で構成されており、毎月1回の定期開催と必要があるときは随時開催しており、経営上の重要事項の承認とともに、業績の推移について議論し対策等を検討しております。

また、経営会議を取締役及び各部門長で構成し、毎週月曜日に開催して、経営上の重要事項について適時、適切な対応策を審議しております。

当社は、監査役制度を採用しており、3名の監査役のうち社外監査役は2名(非常勤)であります。常勤監査役は全ての取締役会、経営会議に出席し、必要な意見を述べ、取締役の職務執行の状況を十分監視できる体制になっております。

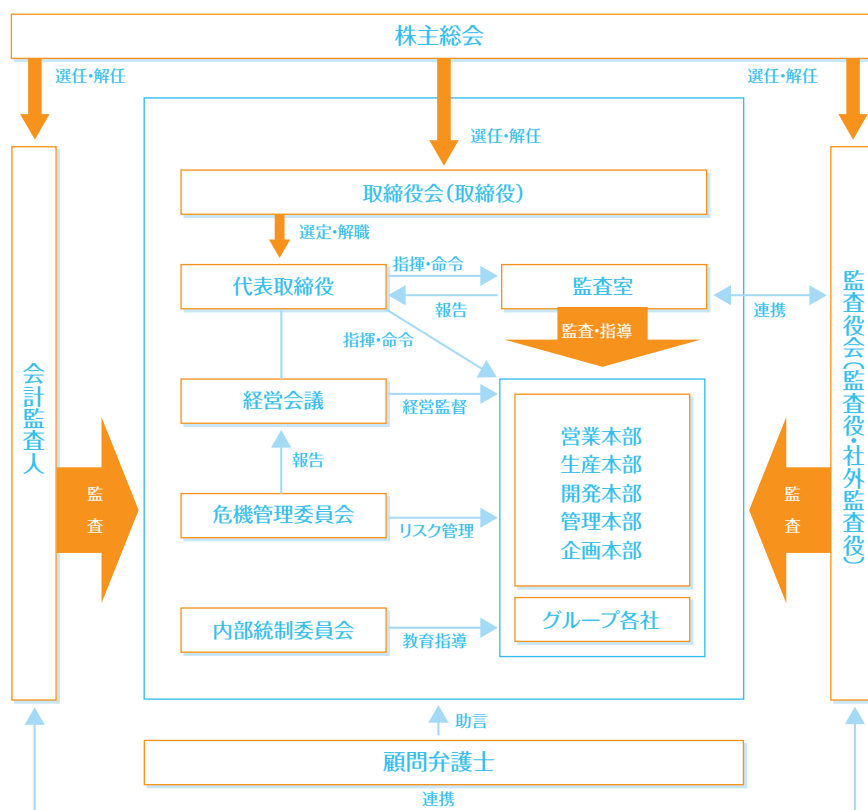
内部監査は、社長直属の監査室を設置し、2名の専従者により関係会社も含めて定期的に内部監査を実施しております。

内部統制システムの運営状況

当グループは、企業内部を適正に管理し、企業価値向上を目指すとともに、会社法・金融商品取引法に対応する体制を構築しており、毎年、運営状況を見直し、内部統制が有効に機能しているかどうかの判断を継続して行っております。

金融商品取引法に係る内部統制においては、定められた手順で業務が正しく行われているかを評価した上で、フジコグループとして「内部統制報告書」を作成し、会計監査人がその有効性を確認します。

2010年6月29日には、2010年3月31日を期末とする当事業年度末日時点において当グループの内部統制は有効に機能していると判断し、「内部統制報告書」を関東財務局に提出しました。



社会性報告

「ふじっ子だから安心」と言われ続けるために…

ふじっ子あんしんシステム

作り手の努力だけではカバーしきれないものだけに、原材料の安全性確認は厳密に行います。フジッコ(株)の本社内に専門部署「食品安全検査室」を設置し、国内産・海外産を問わず、残留農薬検査をはじめ様々な安全検査を実施しています。



【1.残留農薬検査】

フジッコが使う原材料農産物は、国内産・海外産を問わず、すべて「残留農薬検査」を実施しています。現在の対象は豆をはじめ野菜などの主要原材料164種。有機リン系などの危険度の高いものから一般薬まで300種類の農薬をカバー。残留の有無とその量を検出する最新鋭のGC/MSシステムを用いて検査しています。

豆類・根菜・野菜等など使用する全ての農作物について300種類の残留農薬を測定



【2.動物用医薬品検査】

フジッコ製品で使用している魚介類・畜産物などの動物性食材は約30種類。国内産・海外産を問わず、私たちはこれらの動物性食材に対して、抗生物質や抗菌性物質の残留がないかを、同一サンプルを取り寄せ「動物用医薬品検査」を実施して安全性を確認しています。



【3.遺伝子組換え検査】

フジッコがお届けしている製品の原料には「遺伝子組換え作物」は一切使用していません。国内産大豆を中心に、栽培方法を確認できる原産地のものを厳選し、検査機関の証明に加えて社内でもロットごとの遺伝子組換え検査を行い、完全を期しています。



【4.アレルギー物質検査】

生産ラインではいろいろな食品を製造します。そこで、もし万が一、製品に表示をしていないアレルギー物質が混入することがないように、工場では「7大アレルゲン」を含む食材の使用後は、その生産ラインの拭き取り検査を行い、アレルゲンが残留していないかを確認。さらに、「食品安全検査室」で再検査し、安全を確認しています。



【5.フジッコトレースシステム】

製品のひとつひとつの詳細な履歴を掌握・管理するトレースシステムを採用。残留農薬・遺伝子組換え検査などの結果に加え、材料情報・工程情報を把握し、その製品の生産履歴が直ちに分かる仕組みになっています。その一部の情報はお客様が自由に調べることができるように公開しています。

現在、おかず畑、つけもの百選、水煮、ソフトデリの各シリーズ商品について実施



フジッコトレースシステムの概念図

【6.原産地自主表示の推進】

JAS法が定める加工食品の表示義務には、原材料名、賞味期限、製造者などがあります。「原料原産地」については、20品群と4品目(個別表示基準による)の食品についてのみ表示義務が定められております。

しかし、フジッコでは、「お客様に正しい情報を提供し、正しく理解して選んでいただきたい」という思いから、それ以外の食品の原材料原産地についても自主表示を進めております。



「あんしん」のための製造現場の取り組み

「あんしん」のためのフジッコシステムは製造の現場でも日々進化し続けています

すでにご覧いただいたように、科学的な安全性を調べつくした上で、フジッコの「あんしん」は製造の現場に引き継がれますが、製造の現場も日々進化を続けながらフジッコの「あんしん」を支えています。

例えば…

レントゲン検査

いくつもの検査を経た上でパック詰めした製品は、もちろん金属探知機でも検査しますが、それでも捉えきれない異物混入がないか、最終的にソフトX線で確認しています。



例えば…

無菌充填

デザートの充填室は、過酸化水素により、どんな菌も入りこめません。過酸化水素は熱で安全な水と酸素に分解されます。



例えば…

画像チェックやバーコード管理

小さなエラーも見過ごさないための画像管理やバーコード管理などを導入し、現場での安全性の確認や作業の確実性を支えます。



例えば…

定温定湿+バーコード管理

慎重の上に慎重を重ねて作られた商品は、最後の出口でも5℃の二重扉に守られ(チルド室)、バーコードから商品情報や動きをリアルタイムで把握できるWMS(倉庫管理システム)により管理されています。



おいしさと安心に関する取り組みの歴史

よりおいしく、より安心に…。「母の心」で作る現場をサポートするために私達が挑戦し、実現してきた技術はほとんどが日本初、業界初への挑戦でした。製造年月日表示、無漂白・無着色、合成保存料撤廃も、もちろん初めて。安心とおいしさに関する取り組みの一部を書き出して見ても、こんな歴史になります。

昆布製品、豆製品、そう菜製品、デザート製品と、いろいろな製品分野に商品を拡大させてきましたが、これらに共通して言えるのは、いずれもフジッコが培ってきた安心・安全の技術を応用・展開して製品分野を広げてきたということ。フジッコは、これからも安心・安全を大切に、製品の提供に努めてまいります。



社会貢献活動

食育活動

【フォーラムの開催】

カスピ海ヨーグルトの素晴らしさを世間一般に広く知っていただくために、2009年6月24日に東京、2009年11月18日には兵庫で「カスピ海ヨーグルトフォーラム」を開催しました。今回のフォーラムでは、メタボ解消の根本的な解決には内臓脂肪を減らす必要があり、「食後血糖値の上昇抑制」を期待できるカスピ海ヨーグルトが、内臓脂肪を減らすために有効であるという発表がありました。

また、コーカサス地方の長寿者のように、「いい一杯(1・1・1・8)」のヨーグルトを毎日飲んで「いきいきいっぱい(1・1・1・8)」の元気あふれる暮らしを願うという語呂から11月18日は“カスピ海ヨーグルトの日”と制定されております。



【料理教室等の開催】

東京FFセンターや本社のパーティキッチンにて、働く男性を対象とした「弁当男子」の佃煮活用弁当料理教室や“おせち料理に欠かせない黒豆”をテーマとした「親子で黒豆おせち料理教室」、「海のやさい」塩昆布で野菜をおいしく食べよう」と題した、塩昆布“ふじっ子”を使った料理教室等を開催しました。



弁当男子の作ったお弁当

【フジッコ食育ミュージアム】

昆布、豆、食育の歴史や栄養について楽しみながら学んでいただき、フジッコが推進する「食事バランス改善計画」による健全な食生活への理解を深めていただくために、フジッコ食育ミュージアムをオープンしました。昆布ゾーン、豆ゾーン、食育ゾーンの、3つのゾーンを用意し、昆布の収穫体験等のゲームを通じて楽しく学習することができます。



【小学生豆つかみゲーム大会】

正しいお箸の持ち方を、ゲーム感覚で楽しみながら身につけるフジッコオリジナル食育ツール「まめっ子くん」。弊社では、この「まめっ子くん」を使った「小学生豆つかみゲーム大会」を全国各地で開催しております。2010年6月19日(土)には、池袋サンシャインシティにて「第3回小学生豆つかみゲーム大会 ワールド豆つかみカップ」を開催しました。

楽しみながら実践することで確かに身につくものがある。これからもフジッコは、「まめっ子くん」で正しい食事作法を学んでいただけるよう、全国各地で食育イベントを続けて参ります。



【丹波篠山の黒枝豆収穫体験】

自然の恵みの尊さを学ぶことや素材に興味を持つこと、そして農業にかかわる人をはじめ、調理してくれる人への感謝の気持ちを養うことを目的に、2009年10月24日(土)には、兵庫県の丹波篠山にて「親子で丹波篠山黒枝豆収穫体験」を開催しました。丹波篠山黒枝豆は、通常の枝豆に比べて1.5倍も大きく、太い幹を持つため、実際に作業してみると、かなりの力仕事となり、畑仕事の大変さを全身で実感していただくこともできました。



昆布ミネラル国際支援

ネパールで国家的健康問題となっている「ヨード欠乏症」の根絶に努力する熱田先生を“昆布ミネラルカプセル”の無償提供で応援しています。



あつた ちかよし
熱田 親憲 先生

三洋電機退社後、関西国際大学教授を経て現在、同大学及び関西学院大学非常勤講師。講演・執筆・マーケティングコンサルタントなど多方面で活躍中。長女がネパール人男性と結婚したことでネパールが抱える社会問題を知り、支援ボランティア活動へ精力的に参画する。また、画家としての一面も持ち、情感あふれる水彩画を次々と発表。作品はインターネットでも購入でき、売上はネパール支援活動資金にあてられている。
詳しくは<http://www.atsuta-garo.com/>まで。

【「ヨード欠乏症」とは?】

慢性的なヨード摂取不足により甲状腺が機能不全を起こす病気です。のどのあたりにこぶのような腫れ物ができる「甲状腺腫」と甲状腺ホルモンの分泌不全で心身の障害をきたす「クレチン症」の2種類の症状が主に見られ、これらを総称してヨード欠乏症といいます。

ヨードは海藻類に多く含まれます。海藻を日常的に食べる日本ではこの病気はほとんど見られません。内陸地帯や山岳地帯では、ユニセフがその対策に乗り出すほど重大な健康問題となっています。自給自足の農村地帯が多く、険しい山々に囲まれた集落の多いネパールでは、特に重症患者が多いことで知られています。

【なぜ「昆布ミネラル」?】

ネパールでは、国が主導してヨードを添加した塩の摂取を勧めています。輸送手段の乏しさ・保管状態の悪さ・現地の嗜好に合わない味・病気への認知不足などが要因となって、あまり成果が見られていないとのこと。そこで熱田先生が目つけたのが、ヨードが豊富で成分が劣化しにくい日本の「昆布」でした。しかし、もともと海藻になじみの薄いネパールの人々には、その食感と風味はなかなか親しんでもらえません。さて、どうやって食べてもらおうか…熱田先生からの相談を受けたフジッコは、独自技術で昆布エキスを抽出し粉末にした業務用製品「昆布ミネラル」をおすすめしました。これをカプセルに詰め、お薬のように飲んでもらえばどうか、と提案したのです。ヨードの薬というのは以前から存在しましたが、ヨードチンキのような化学的なものがほとんどで、効きすぎや副作用が懸念されていました。しかし、「昆布ミネラル」は天然成分そのものなので、体にやさしく自然に吸収されやすいのです。

献血運動への協力

日本赤十字社より、永年にわたる献血運動への協力に対し、銀色有功章をいただきました。また、厚生労働省が掲げる献血構造改革の中で、企業・団体に対する献血の推進対策として、献血に積極的に協力する企業・団体が行う献血活動を広く一般社会に認知していただくよう、社会貢献活動の象徴として、ロゴマークを発行することが決定され、「献血サポーター」と名づけられました。この「献血サポーター」活動に参加登録し、社会貢献活動である献血活動を一般の方々にわかりやすくPRする「献血サポーターマーク」の使用許可をいただきました。



私たちは
献血推進キャンペーンを
応援しています。

山岸八郎奨学基金

2007年6月、神戸大学より山岸会長あてに、神戸大学基金をもとにした外国人留学生を対象とする奨学金制度の紹介がありました。弊社では、この主旨に賛同し、山岸八郎奨学基金として2008年4月1日より奨学金制度をスタート。2009年度は2名の方が奨学生に選ばれました。この奨学金には「奨学金を糧にして未来に羽ばたいてほしい」との思いが込められています。



ベルマーク運動への参加

当社は、1974年4月よりベルマーク運動に参加しており、証票点数も累計で3億点を突破しております。



【ベルマーク運動とは?】

ベルマーク運動は、PTA、企業、ベルマーク財団が進めているボランティア活動です。この活動によって、PTAは自分の学校の設備を整えることができるのと同時に、へき地にある学校や特別支援学校(特殊教育諸学校)、災害被災校、さらには発展途上国の子供たちへの援助も行えます。

障害者の雇用率について

現在、障害者の法定雇用率は、従業員数の1.8%と決められておりますが、弊社はそれを上回る2%(2010年6月1日時点)の雇用率となっており、過去には障害者雇用優良事業所として兵庫県知事表彰を受賞しました。

ステークホルダーとのコミュニケーション

お客様とのコミュニケーション

【お客様相談室】

どんな小さな苦情やご意見もナマのお声で伺うのは、創業以来の習わしであります。商品の数も多くなり、大規模な調査をしても、お客様のお宅をお訪ねしてもまだまだ伺いきれないご意見や、商品・製法についてのご質問をお受けできるように「お客様相談室」として専用ダイヤルを1993年から設けています。



株主の皆様とのコミュニケーション

【株主総会および株主懇親会の開催】

フジッコ(株)の2010年度の株主総会は2010年6月29日に開催し、198名の株主様にご出席いただきました。また、株主総会終了後には、株主の皆様と当社役員のコミュニケーションをさらに深める機会として、2000年度より「株主懇親会」を開催し、当社商品の紹介や当社商品を使った料理を試食していただきながら、経営に関するご質問、商品や事業運営についての貴重なご意見をお聞きしています。



【株主優待制度】

フジッコ(株)は、株主の皆様に感謝の意を表すとともに、フジッコ製品をより身近に感じていただくために、1991年度より1,000株以上の株式を保有する株主様に対してフジッコ製品の詰め合わせセットを毎年6月にお届けしております。



2010年度送付の当社製品 ▶

投資家向けIR活動の充実

【決算説明会の開催】

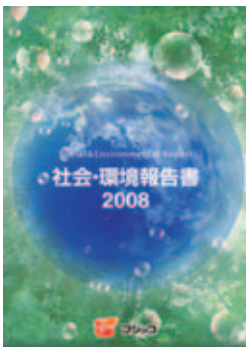
本決算および第2四半期(中間)決算発表後にアナリスト・機関投資家の皆様とのコミュニケーションを深めるため、経営トップ自身が経営戦略やその進捗状況等を説明し、質問に答える機会を設けるため、決算説明会を定期的に開催しております。

【アナリスト・機関投資家訪問の実施】

本決算および第2四半期(中間)決算発表後には、決算説明会を開催しアナリスト・機関投資家の皆様とのコミュニケーションを図っておりますが、IR活動をより充実させるため、四半期ごとの決算発表後には、アナリスト・機関投資家の皆様を対象としたスモールミーティング(個別訪問)も積極的に実施しております。

【ホームページによる情報開示】

フジッコ(株)は、さまざまなステークホルダーの皆様に適時・適切な情報を開示するため、ホームページにおいても情報開示を行っております。



ホームページにおける情報開示の一例



「フジッコ」ホームページ

URL <http://www.fujicco.co.jp>

環境報告

環境基本方針

環境基本理念

フジッコグループは、「すこやかフジッコ」を合言葉に日本の伝統食・伝統食材に基づいた、健康という付加価値を持った商品をつくり出しております。

健康という付加価値をもつには、まず、素材と従業者が健康でなくてはなりません。そのためには、地球環境が健康であることが必要不可欠であります。近年、私たちの住む地球は、科学技術の発達と生活環境の変化によって汚染が進み、食品の安全性を含め生活環境の破滅を招く事態となっております。

ここに、食を通じて社会に役立ちたいと願うフジッコは、各工場において環境に配慮した生産活動を行い、地球環境の改善ならびに地球環境への負荷軽減に資するよう、たえず努力することを誓います。

環境行動指針

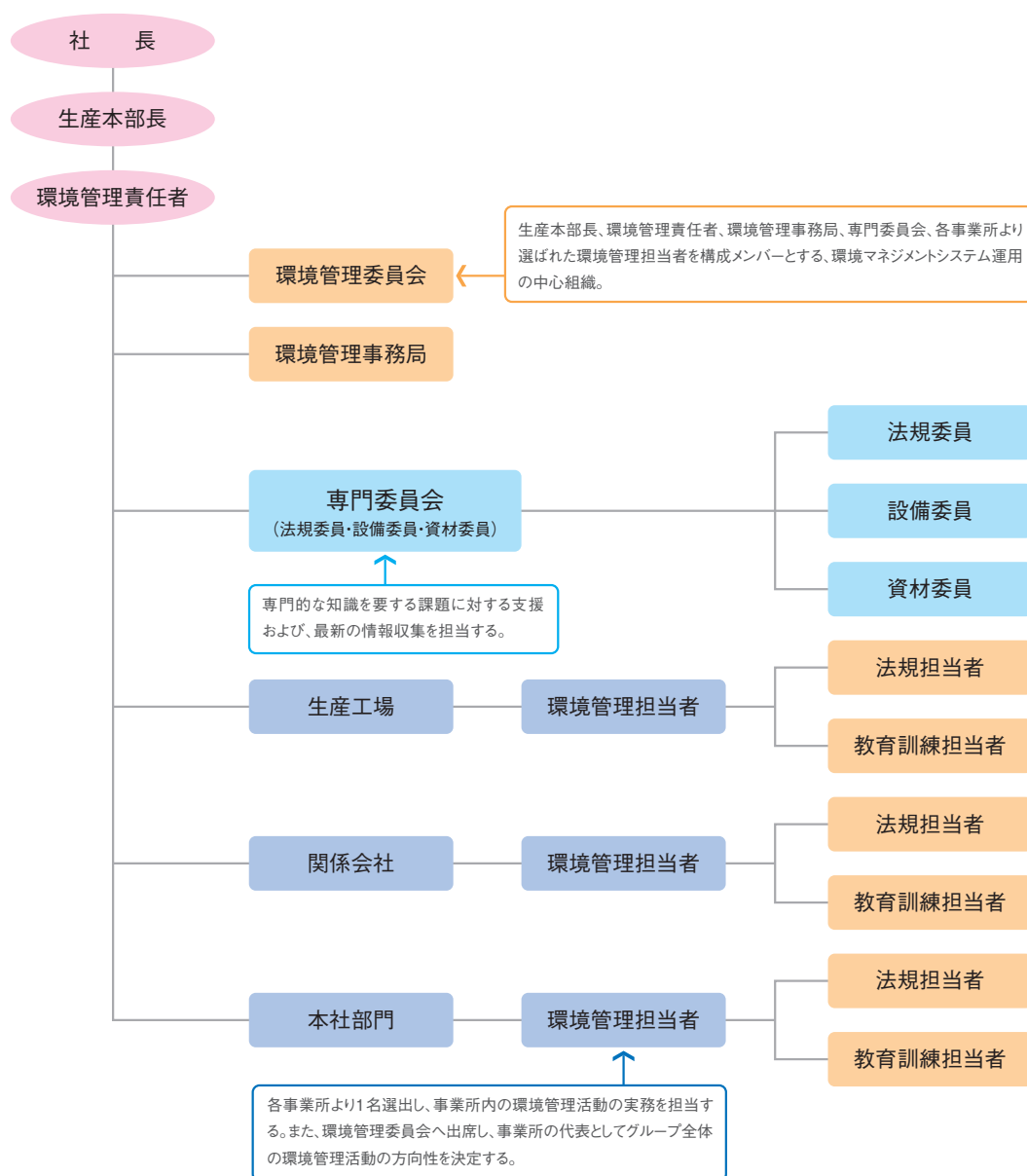
- 【1】事業活動にかかわる環境側面を常に配慮し、環境マネジメントシステムを構築することにより環境保全活動の継続的な向上を図ります。
- 【2】食品工場の宿命として水の使用量が多いこともあり、水質汚濁防止のため工場排水を重点的に管理し、地域社会との共生を図ります。
- 【3】主な消費エネルギーである電力や重油の節減に取り組むとともに、廃棄物の低減化、リサイクル、リユースにも努力します。
- 【4】環境基本法を中心とした環境関連の法律・規制・協定を遵守するとともに国際環境規格を守ります。
- 【5】環境目的、環境目標を設定し、毎年見直しを行って改善に努めます。

環境管理活動の状況

環境マネジメント組織

環境に与える影響が最も大きい生産部門を中心とする環境マネジメント組織で環境負荷低減のための活動を行いました。

■フジッコグループ 環境マネジメント組織

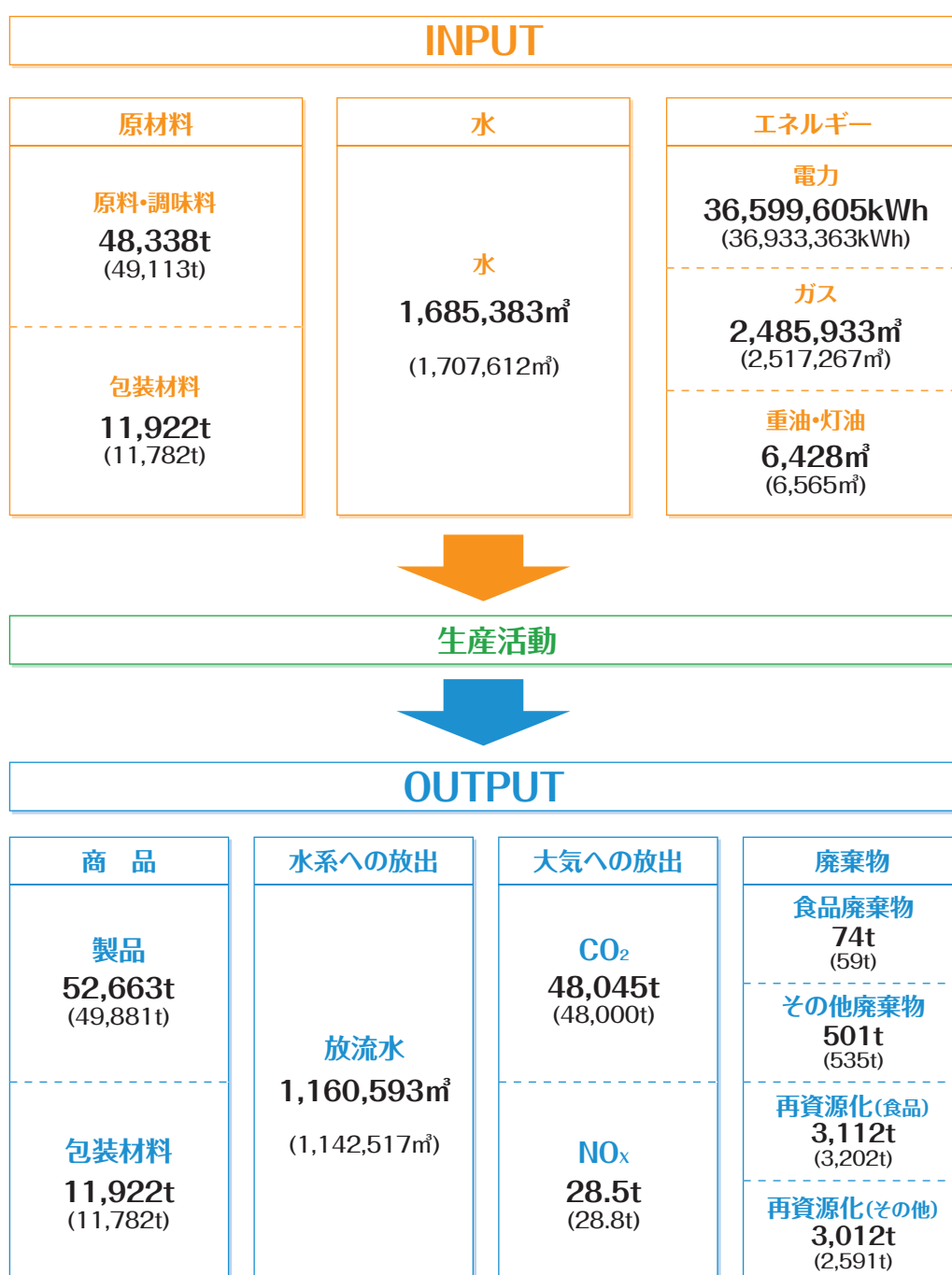


環境への負荷

下図は、2009年度のフジッコグループの生産工場における、環境への負荷をフローの形で表したものです。なお、()内は、2008年度の数値を示しています。

原材料と水、エネルギーがインプットされ、佃煮、煮豆等の製品が生産されます。生産活動の結果、アウトプットとして、水系に排水が、大気系にCO₂、NO_xが放出され、また廃棄物が排出されます。

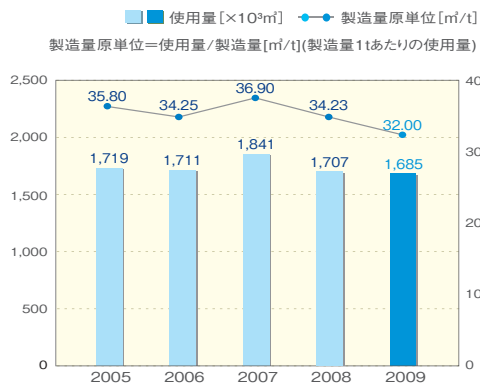
このような生産活動による環境負荷のうち、「水の使用」「食品廃棄物の排出」「電力の消費」「重油・灯油の使用」「CO₂の放出」を著しい環境側面と特定し、これらの環境負荷低減のための活動に取り組んでいます。



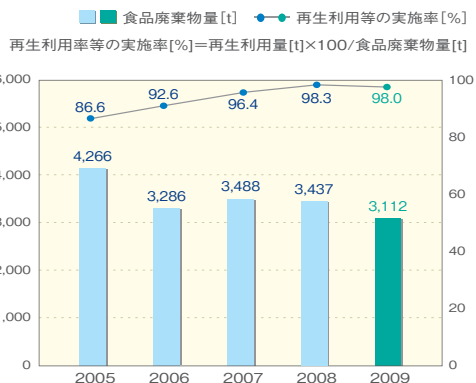
【過去5年間(2005年度～2009年度)の実績について】

過去5年間の水の使用量、食品廃棄物の再生利用等の実施率、電力消費量、石油系燃料(重油・灯油)の消費量、CO₂排出量の推移は下記のとおりです。

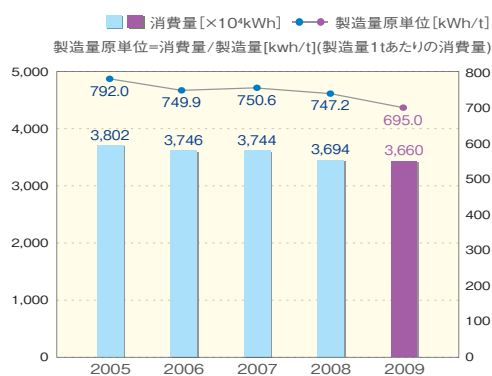
水の使用量の推移



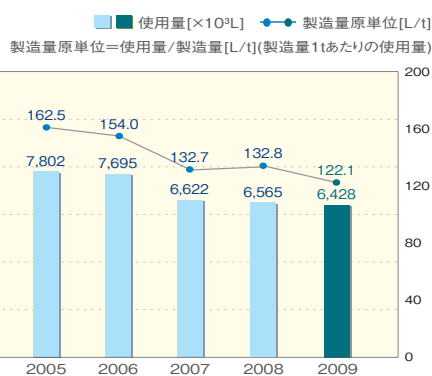
食品廃棄物の再生利用等の実施率の推移



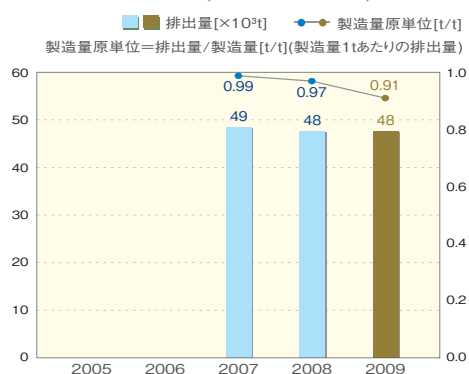
電力消費量の推移



石油系燃料使用量の推移



CO₂排出量の推移(2007年度より)



環境目的・目標

生産部門における環境側面の調査結果より、フジッコグループ全体で取り組むべき環境管理活動を環境目的および環境目標として定めました。

環境目的(中期目標)

5か年の中期目標を環境目的として定め、数値目標達成に向けグループ全体で取り組んでおります。

□ 取り組み □ 目標

1	水の使用量を削減する ↳ 2006年度を基準として、2011年度までに出荷重量対比で3%削減する
2	食品廃棄物の再生利用等を促進する ↳ 2011年度までに、食品廃棄物の再生利用等の実施率を95%にする
3	電力消費量を増加させない ↳ 2006年度を基準として、2011年度までに出荷重量対比で100%を超えないようにする
4	石油系燃料(灯油・重油)の使用量を削減する ↳ 2006年度を基準として、2011年度までに出荷重量対比で3%削減する
5	CO ₂ 排出量を削減する ↳ 2007年度を基準として、2011年度までに出荷重量対比で2%削減する

環境目標(短期目標)

1年間の数値目標を環境目標として定め、その達成に向けグループ全体で取り組んでおります。

【2009年度の環境目標】

2009年度の数値目標を環境目標として定め、その達成に向けグループ全体で取り組みました。

	環境目標		実績	評価
1	水の使用量を2006年度より出荷重量対比で2%削減する	→	2006年対比 6.6%削減	○
2	食品廃棄物の再生利用等の実施率を2008年度に対して維持・向上する(98%以上)	→	実施率 98%	○
3	電力消費量を出荷重量対比で2006年度以下にする	→	2006年対比 7.3%削減	○
4	石油系燃料(灯油・重油)の使用量を出荷重量対比で2008年度以下にする	→	2008年対比 4.1%削減	○
5	CO ₂ 排出量を2007年度より出荷重量対比で1.5%削減する	→	2007年対比 7.2%削減	○

【2010年度の環境目標】

2010年度の環境目標は、以下の通りであります。

	環境目標
1	水の使用量を2006年度より出荷重量対比で7%削減する
2	食品廃棄物の再生利用等の実施率を2008年度に対して維持・向上する(98%以上)
3	電力消費量を2006年度より出荷重量対比で8%削減する
4	石油系燃料(灯油・重油)の使用量を2008年度より出荷重量対比で5%削減する
5	CO ₂ 排出量を2007年度より出荷重量対比で8%削減する

事業所による環境管理活動

関東工場(生產品目:佃煮、煮豆、デザートなど)

【環境目標の達成状況】

目標	実績	評価
水の使用量を前年より出荷重量対比で1%削減する	前年対比6.5%増加	×
食品廃棄物の再生利用等の実施率を98.3%以上にする	実施率100%	○
電力消費量を前年より出荷重量対比で1%削減する	前年対比4.3%削減	○
ボイラーで使用する重油の使用量を前年より出荷重量対比で1%削減する	前年対比1.5%増加	×
CO ₂ 排出量を前年より出荷重量対比で1.5%削減する	前年対比1.6%削減	○
地域の環境保全活動へ参加する 工場周辺を定期的に清掃する	実施	○

【環境負荷低減への取り組み】

- 電力使用量を削減するため、高効率型の蛍光灯照明器具を導入しました。
- 煮豆棟の排気ファンの運転を見直し、原料室と製品ラック倉庫の排気ファンを停止させることにより、電力使用量を削減しました。
- 煮豆棟に設置されている2台のエアコンを省エネタイプエアコンに更新することにより電力使用量を削減しました。
- ボイラー室内のヘッダーバルブに保温カバーを設置することにより、放熱によるエネルギーのロスを減少させました。
- 蒸気配管のスチームトラップの定期点検を実施し、不具合箇所の整備を随時行いました。



【地域環境への貢献活動】

- 渡良瀬遊水地クリーン作戦に参加しました。
- 工場外周の側溝清掃と除草を定期的に行いました。



所在地 埼玉県加須市北川辺町麦倉1501番地

【過去5年間(2005~2009年度)の環境負荷データ】

	単位	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
水の使用量	m ³	389,610	372,158	392,808	371,399	405,915
食品廃棄物の再生利用等の実施率	%	100.00	100.00	98.70	98.71	100.00
電力の消費量	kwh	7,991,868	7,731,660	7,620,140	7,658,240	7,524,610
石油系燃料(重油・灯油)の使用量	m ³	1,863	1,947	2,040	2,167	2,256
CO ₂ 排出量	t			9,780	10,147	10,322
出荷重量	t	8,541	8,985	8,376	7,678	7,880

東京工場(生産品目:佃煮・調味食品・包装惣菜・日配惣菜など)

【環境目標の達成状況】

目標	実績	評価
水の使用量を前年より生産パック数対比で3%削減する	前年対比4.3%削減	○
食品廃棄物の排出量を生産パック数対比で前年を維持する	前年対比3.7%増加	×
電力消費量を前年より生産パック数対比で3%低減する	前年対比6.1%削減	○
燃料ガス使用量(LPG、都市ガス)を前年より生産パック数対比で1%低減する	前年対比5.1%削減	○
環境保全・改善活動を実施する	実施	○

※ガス使用量はCO2排出量で換算しております。

【環境負荷低減への取り組み】

- 省エネ対策として、コンプレッサーの更新を行い、煮熟場給排気装置の一部をインバータ制御に変更しました。
- 電力デマンド値抑制の対応のため、佃煮グループの時差出勤対応を行い、ピーク時の装置運転を行わないようにしました。
- 食堂の自動販売機の入替を行い、消費電力を削減しました。また、売上の一部を募金しました。

【従業員への教育と啓蒙】

- 環境に影響し得る作業を行う担当者を対象に、教育訓練を実施しました。
- 全従業員に対し、繰り返して節電を呼びかけました。

【地域環境への貢献活動】

- 船橋市主催の清掃活動への参加及び、定期的な工場周辺の清掃活動を行いました。



所在地 千葉県船橋市高瀬町5番

【過去5年間(2005~2009年度)の環境負荷データ】

	単位	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
水の使用量	m ³	247,656	267,935	321,595	303,794	288,998
食品廃棄物の再生利用等の実施率	%	91.67	89.55	88.00	94.00	100.00
電力の消費量	kwh	5,663,009	5,912,596	6,398,995	6,348,971	5,929,436
CO2排出量	t			9,100	8,939	8,477
出荷重量	t	9,158	9,615	10,480	10,039	11,771
生産パック数	千パック			64,208	60,229	59,877

※生産パック数は、2007年度より調査しております。

横浜工場（生產品目：日配惣菜・ヨーグルト）

【環境目標の達成状況】

目標	実績	評価
水の使用量を出荷重量対比で前年以下にする	前年対比20.5%削減	○
廃棄物の再利用率を前年より3%向上させる	前年対比12.0%向上	○
電力消費量を出荷重量対比で前年以下にする	前年対比19.9%削減	○
ガスの使用量を出荷重量対比で前年以下にする	前年対比22.0%削減	○

【環境負荷低減への取り組み】

- 水の使用量削減の目的で、野菜洗浄機の水量の適正化を行いました。また、野菜ボイル槽の運用を開始しました。
- 電力消費量削減の目的で、排気換気扇ヘインバータを新設しました。また、クーリングタワーメンテナンスと改良を実施し、運転時間を短縮しました。
- ガスの使用量削減の目的で、各配管系統別の圧力を調整しました。また、各生産状況に応じてボイラーの運転を停止しました。
- 廃棄ビニール類の焼却処分をサーマルリサイクルに変更しました。



【従業員への教育と啓蒙】

- 毎月のエネルギーおよび水の使用状況をグラフで掲示すると共に、エネルギー使用量を朝礼で広報しました。

【地域環境への貢献活動】

- 植木の剪定及び、工場前の歩道や道路の清掃を行いました。



所在地 横浜市緑区上山1丁目8番2号

【過去5年間（2005～2009年度）の環境負荷データ】

	単位	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
水の使用量	m ³	46,594	46,395	39,205	47,509	52,815
食品廃棄物の再生利用等の実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
電力の消費量	kwh	1,523,100	1,514,400	1,412,580	1,593,024	1,784,419
CO ₂ 排出量	t			1,657	1,682	1,926
出荷重量	t	1,294	1,741	1,799	2,120	2,965

FOCUS

環境に配慮した包装の事例

容器包装においても環境に配慮することが重要と考え、一般的にアルミ包材が使用されるレトルト食品で、フジッコは脱アルミ包材を採用しました。「鍋つゆ」シリーズの全品、「麻婆豆腐の素」でアルミ不使用の包材を使用しております。



和田山工場（生產品目：煮豆・塩吹昆布など）

【環境目標の達成状況】

目標	実績	評価
水の使用量を前年より生産パック数対比で1.2%削減する	前年対比14.7%削減	○
食品廃棄物の排出量を前年より生産パック数対比で1%削減する	前年対比13.2%削減	○
電力消費量を前年より生産パック数対比で1%削減する	前年対比0.5%増加	×
石油系燃料の使用量を前年より生産パック数対比で1.2%削減する	前年対比1.9%増加	×
CO ₂ 排出量を前年より生産パック数対比で0.5%削減する	前年対比1.5%増加	×

【環境負荷低減への取り組み】

- 水の使用量を削減するため、クーリングタワー補給水をレトルト殺菌機に再利用しました。
- レトルト冷却水を濾過し、再度冷却水として使用しました。
- レトルト殺菌機の空運転の削減、温水槽の水交換回数の削減により、水の使用量を削減しました。
- 包装機・シュリンク包装機の稼働率アップにより、電力消費量を削減しました。
- 給排気ファンの稼働を見直し、冬季期間中1台を停止することにより電力消費量を削減しました。
- チルドラック倉庫を冬季冷却停止することにより電力消費量を削減しました。
- 煮豆煮熟場のステージ毎に蒸気バルブを取り付け、使用していない蒸気配管からの放熱を防止しました。
- レトルト殺菌機のテスト運転回数の削減により、蒸気使用量を削減しました。

【従業員への教育と啓蒙】

- 従業員向けに家庭でできる省エネの資料を掲示し、意識の高揚を図りました。
- 環境目的・環境目標および毎月の環境実績をグラフで掲示するとともに広報を行い、環境負荷低減活動を啓蒙しました。

【地域環境への貢献活動】

- 環境パトロールとして、月1回、工場内部と工場周辺を巡回し点検を実施しました。
- クリーン作戦として、工場周辺右岸道路、円山川河川敷の清掃活動を行いました。



所在地 兵庫県朝来市和田山町柳原68

【過去5年間（2005～2009年度）の環境負荷データ】

	単位	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
水の使用量	m ³	293,034	330,291	355,012	293,394	249,234
食品廃棄物の再生利用等の実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
電力の消費量	kwh	5,760,670	5,873,251	6,010,712	5,977,837	5,982,925
石油系燃料（重油・灯油）の使用量	m ³	2,097	2,032	2,247	2,232	2,265
CO ₂ 排出量	t			10,406	10,069	12,935
出荷重量	t	7,941	8,356	8,821	8,462	7,726
生産パック	千パック				73,445	73,114

※生産パック数は、2008年度より調査しております。

加古川分工場(生産品目:煎り豆など)

【環境目標の達成状況】

目標	実績	評価
電力消費量を前年より出荷重量対比で1%削減する	前年対比14.6%削減	○
工場周辺の清掃・草引きを定期的に行う	実施	○

【環境負荷低減への取り組み】

- 電力消費量削減のため、使用していない作業場・使用が終わった作業場所の電源は、こまめに切るようにしました。
- 原料豆倉庫の室温について、基準温度を維持できる範囲において冷房・暖房機器を停止しました。

【地域環境への貢献活動】

- 美化運動として、工場周辺道路、加古川沿いの清掃を行いました。
- 工場周辺の清掃・草取りを定期的に行いました。



所在地 兵庫県加古川市上荘町見土呂字カチドキ38番

【過去5年間(2005～2009年度)の環境負荷データ】

	単位	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
水の使用量	m ³	826	814	643	702	551
食品廃棄物の再生利用等の実施率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
電力の消費量	kwh	169,004	165,180	14,216	14,472	14,200
CO ₂ 排出量	t			32	37	60
出荷重量	t	101.1	84.3	66.2	87.6	100.6

TOPICS

“おまめさん こんぶ豆”「ニッポンの食、がんばれ!」推奨商品に決定!

第1期「ニッポンの食、がんばれ!」キャンペーン(主催:「ニッポンの食、がんばれ!」キャンペーン実行委員会)において当社の商品である“おまめさん こんぶ豆”が推奨商品として選ばれました。このキャンペーンは、「国産」「安心」「環境」の3点を基準に、とくに製造工程でCO₂削減に努めている製品を選び、広く社会に普及させることを目的としており、第1期では、「米・大豆」がテーマとなりました。

キャンペーンへの応募は公募で、推奨商品に選ばれるためには、①国産(原料の大豆が100%国産であること)②環境(製造段階において環境負担の少ない製品であること)③安心(残留農薬が食品衛生法で定められた基準などを満たしていること)の3つの基準をクリアする必要がありましたが、書類審査および理化学検査の結果、当社の“おまめさん こんぶ豆”は推奨基準を満たしていると判断されました。



鳴尾生産事業部(生産品目:佃煮・包装惣菜など)

【環境目標の達成状況】

目標	実績	評価
水の使用量は前年を維持する	前年対比1.9%削減	○
前年に引き続き、食品廃棄物の再生利用等の実施率100%を維持する 生ゴミの飼料化を行う	実施率100% 実施	○
電力消費量は前年を維持する	前年対比0.8%削減	○
燃料(LPG、都市ガス)の使用量は前年を維持する	前年対比3.0%削減	○
地域保全活動を実施する	実施	○

【環境負荷低減への取り組み】

- 水の使用量の削減の目的で、冷凍品の流水解凍設備を見直しました。
- クーリングタワー薬注装置を導入して冷却能力をアップし、冷却時間の短縮により水の使用量を削減しました。
- 食品廃棄物の排出量を低減させる目的で、煮熟カゴの補修、昆布切断場のライン改善によるこぼれの防止を行いました。
- 給排気ファンのインバータ化と季節及び時間帯別にタイマー制御を行い、電力消費量を削減しました。
- 蛍光灯および非常照明を省エネタイプに交換して電力消費量を削減しました。
- 廃水処理プロアーの回転数レベル制御により電力消費量を削減しました。
- 燃料使用量削減の目的で蒸気配管の蒸気漏れをなくしました。
- 煮熟釜のドレン回収を進めました。
- 蒸気配管、およびドレン配管の保温施工を行い、熱エネルギーのロスを低減しました。

【地域環境への貢献活動】

- 鳴尾浜連絡会主催の年2回の清掃活動に参加しました。



所在地 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番5

【過去5年間(2005~2009年度)の環境負荷データ】

	単位	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
水の使用量	m ³	235,258	221,538	267,525	261,271	256,418
食品廃棄物の再生利用等の実施率	%	3.23	25.10	100.00	100.00	100.00
電力の消費量	kwh	7,087,066	6,665,399	6,485,959	6,082,412	6,037,155
石油系燃料(重油・灯油)の使用量	m ³	1,845	1,574	0	0	0
CO ₂ 排出量	t			7,539	7,137	7,266
出荷重量	t	6,499	6,572	6,834	8,033	8,177

西宮工場（生產品目：納豆、佃煮、ヨーグルトなど）

【環境目標の達成状況】

目標	実績	評価
水の使用量を生産パック数対比で前年を維持する	前年対比16.0%削減	○
電力消費量を生産パック数対比で前年を維持する	前年対比13.1%削減	○
灯油使用量を前年より生産パック数対比で1%削減する	前年対比14.4%削減	○
CO ₂ 排出量を前年より生産パック数対比で1%削減する	前年対比13.7%削減	○
工場周辺の定期清掃活動の継続と周辺美化を実施する	実施	○

【環境負荷低減への取り組み】

- 清掃時、コンテナに貯めた水を使用することにより、洗い水の使用量を削減しました。
- コンプレッサーの稼働時間を見直し、大型のコンプレッサーの運転時間を短縮することにより、電気消費量を低減しました。
- 閑散期に、冷蔵保管物を集約し、冷蔵庫を1基停止することにより、電気使用量を削減しました。
- 灯油使用量の削減のため、工場内の作業終了時には、すぐにボイラーの運転を停止し、運転時間の短縮を図りました。
- 蒸気漏れの箇所の修理を行いました。



【従業員への教育と啓蒙】

- 全員朝礼時に節水・省エネに関する依頼を広報し、現場単位での節水・省エネ対策を講じて省エネを推進しました。
- 各現場より排出される廃棄物の量を現場ごとに毎日計測・記録することにより、廃棄物への関心を持たせ、従業員の環境意識の維持に努めました。

【地域環境への貢献活動】

- 地域環境の向上のため、工場周辺の道路清掃を毎週実施しました。
- 近隣住宅付近と工場敷地境界の植木の剪定を行ないました。また、工場外周の不要物を整理・廃棄し、地域の美化維持に努めました。
- アイドリング防止活動を継続実施すると共に、荷受トラックの駐車スペースを近隣住宅から離れた場所に新たに設け、騒音防止に配慮しました。
- 工場の立地している地域の清掃活動に参加しました。



所在地 兵庫県西宮市津門川町3番6号

【過去5年間（2005～2009年度）の環境負荷データ】

	単位	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
水の使用量	m ³	20,017	21,070	19,659	17,561	16,101
食品廃棄物の再生利用等の実施率	%	28.84	19.70	86.33	100.00	100.00
電力の消費量	kwh	1,123,523	1,103,816	1,031,100	1,068,970	1,015,040
石油系燃料（重油・灯油）の使用量	m ³	135	127	133	146	136
CO ₂ 排出量	t			907	960	905
出荷重量	t	2,446	2,517	1,666	1,722	1,065
生産パック数	千パック				8,057	8,800

※生産パック数は2008年度より調査しております。

フジコン食品(株) (生產品目:佃煮・とろろ・漬物・調味食品など)

【環境目標の達成状況】

目標	実績	評価
水の使用量を前年より出荷重量対比で0.5%削減する	前年対比29.8%削減	○
食品廃棄物の排出量を前年より出荷重量対比で1%削減する	前年対比19.5%削減	○
電力消費量を前年より出荷重量対比で0.5%削減する	前年対比23.2%削減	○
石油系燃料の使用量を前年より出荷重量対比で0.5%削減する	前年対比20.3%削減	○
CO ₂ 排出量を前年より出荷重量対比で0.5%削減する	前年対比21.8%削減	○
地球環境に優しい活動に取り組む	実施	○

【環境負荷低減への取り組み】

- 水の使用量を削減するため、きゅうり原料の脱塩ロットを見直し、脱塩槽での水の使用量の適正化を行いました。
- 充填液の保管方法をチラー冷却保管から冷蔵庫保管に変更しました。
- 漬物発酵液について適正な在庫管理を行い、冷却水による保管を廃止しました。
- 水漏れ箇所の点検と修理を行いました。
- 食品廃棄物の削減のため、佃煮工程での廃棄物の脱水を行いました。また、昆布切断後の変形昆布を他の昆布製品の原料に使用しました。
- 電力消費量の節減のため、エアー配管経路の変更および増幅を行いました。また、シリンダー交換によりエアー漏れを防止しました。
- チラー稼働時間の短縮および設定温度の見直しを行いました。また、冷暖房の温度設定の変更を行いました。
- 石油系燃料の使用量を削減するため、蒸気もれの点検と修理を行いました。また、ガスボイラーの燃焼時間の管理と有効運転、蒸気配管の交換と保温材劣化部分の補修を実施しました。
- レトルト殺菌機への断熱材の設置を行いました。
- 地球環境にやさしい活動として、積載効率を上げ製品配送定期便の減便に取り組みました。

【従業員への教育と啓蒙】

- 朝礼で、環境目標とこれに対する取り組みについて全社員への周知を図りました。
- グループ毎に環境負荷削減目標を立て、実行計画書を作成し計画的に改善に取り組みました。また、月々の達成度を実行計画書に記載し、環境掲示板で広報しました。
- 月に1回、環境管理委員会を開催し、実施状況の進捗確認と改善活動に取り組みました。

【地域環境への貢献活動】

- 定期的に会社周辺の清掃活動を行いました。



所在地 兵庫県美方郡新温泉町福富字定利178番地

【過去5年間(2005~2009年度)の環境負荷データ】

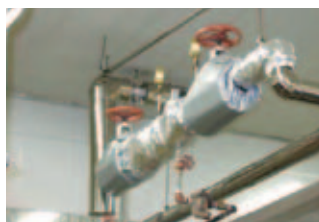
	単位	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
水の使用量	m ³	262,457	239,639	234,676	192,214	173,468
食品廃棄物の再生利用等の実施率	%	12.57	14.44	21.88	34.67	44.69
電力の消費量	kwh	2,611,185	2,524,970	2,370,640	2,355,536	2,325,410
石油系燃料(重油・灯油)の使用量	m ³	470	421	446	405	415
CO ₂ 排出量	t			2,525	2,403	2,417
出荷重量	t	1,859	1,771	1,719	1,940	2,494

【環境目標の達成状況】

目標	実績	評価
水の使用量を前年より生産パック数対比で1%削減する	前年対比3.7%削減	○
電力消費量を生産パック数対比で前年以下にする	前年対比8.9%削減	○
石油系燃料(重油・灯油)の使用量を生産パック数対比で前年以下にする	前年対比11.9%削減	○
CO ₂ 排出量を2007年度より生産パック数対比で1.5%削減する	2007年対比7.6%削減	○
年1回の工場周辺幹線道路のクリーン作戦と定期的な工場周辺の美化活動を行う	実施	○

【環境負荷低減への取り組み】

- 惣菜棟の蒸気ドレンについて、ボイラー給水に回収する配管を施工し、重油使用量と水使用量を削減しました。
- 蒸気配管のバルブ・減圧弁などに断熱カバーを設置し、重油使用量を削減しました。
- デザート棟天井内の蒸気ドレン配管に断熱カバーを設置し、室温の上昇を抑え、夏季のエアコン用電力を削減しました。
- 洗浄用のホースの口径を小さくして、水の使用量を削減しました。



【従業員への教育と啓蒙】

- 朝礼で、省エネ活動の実施を要請しました。

【地域環境への貢献活動】

- 境港市の一斉清掃に合せて、工場周辺と国道の清掃活動を行いました。
- 毎日の工場周囲の車道・歩道の落ち葉、ゴミ拾いを実施しました。



所在地 鳥取県境港市竹内団地271番地

【過去5年間(2005～2009年度)の環境負荷データ】

	単位	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
水の使用量	m ³	188,795	176,835	172,460	173,032	191,302
食品廃棄物の再生利用等の実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
電力の消費量	kwh	3,797,256	3,525,336	3,360,720	3,128,640	3,272,472
石油系燃料(重油・灯油)の使用量	m ³	1,217	1,211	1,272	1,117	1,130
CO ₂ 排出量	t			5,333	4,771	4,888
出荷重量	t	7,328	6,797	6,569	5,606	6,304
生産パック数	千パック			33,703	29,197	33,527

※CO₂排出量、生産パック数は、2007年度より調査しております。

フジッコワイナリー(株) (生產品目:デザート・ワインなど)

【環境目標の達成状況】

目標	実績	評価
水の使用量を前年より出荷重量対比で5%削減する	前年対比2.4%削減	○
食品廃棄物の再利用等の実施率を98.3%以上にする	実施率99.6%	○
電力消費量を出荷重量対比で2006年度以下にする	2006年対比11.6%削減	○
重油の使用量を前年より出荷重量対比で2%削減する	前年対比9.4%削減	○
CO ₂ 排出量を2007年度より出荷重量対比で1.5%削減する	2007年対比11.1%削減	○
地域環境保全に貢献し、工場内及び工場周辺をきれいにする活動を行う	実施	○

【環境負荷低減への取り組み】

- 水の使用量を削減するため、タンクの洗浄方法を変更しました。
- デザート製品の工程中に裏漉し機などを導入し、見栄え等の不良を減らすことで食品廃棄物の発生量を少なくしました。
- 電力消費量を削減するため、新規に蛍光灯を設置する際には、高出力型へ変更しました。また、樽発酵室の電灯をセンサー式にしました。
- コンプレッサーの運転を見直し、負荷の低下する夜間には1台停止しました。

【従業員への教育と啓蒙】

- 従業員に対して2009年度環境報告書を使用し、環境に関する勉強会を実施しました。

【地域環境への貢献活動】

- 一般廃棄物を削減するため、デザートカップのフィルム抜きガラやビニール袋をリサイクルする活動を行いました。
- 7月～9月にかけて、当社周辺道路の清掃・除草活動を毎週実施しました。
- 甲州市主催の中央道周囲の清掃活動に参加しました。



所在地 山梨県甲州市勝沼町下岩崎2770番地1

【過去5年間(2005～2009年度)の環境負荷データ】

	単位	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
水の使用量	m ³	25,739	23,624	26,695	37,017	40,252
食品廃棄物の再生利用等の実施率	%	35.50	100.00	97.90	99.49	99.58
電力の消費量	kwh	1,023,570	1,102,482	1,204,524	1,245,408	1,297,962
石油系燃料(重油・灯油)の使用量	m ³	176	184	200	220	222
CO ₂ 排出量	t			1,212	1,288	1,323
出荷重量	t	2,837	3,137	3,402	3,752	4,179

本社部門

【環境目標の達成状況】

目標	実績	評価
生産本部フロアの電灯・コンセントの電力消費量を 前年より在籍人員対比で1%削減する	前年対比3.0%削減	○
生産本部フロアの再生ゴミ比率を1%向上させる	前年対比8.8%ダウン	×
本社周辺の清掃を実施する	実施	○
朝礼等での環境教育を実施する	実施	○

【環境負荷低減への取り組み】

- グリーン購入を進めるため、環境活動に積極的に取り組んでいる企業から備品を購入しました。
- 電力消費量を削減するため、パソコン・照明の電源をこまめに切るように啓蒙すると共に、クールビズを行いました。
- 高効率型の照明の新規導入と更新を行いました。

【従業員への教育と啓蒙】

- 従業員に対する環境への意識付けのため、毎月の電力・水・ガスの使用量について回覧を行いました。

【地域環境への貢献活動】

- ポートアイランド(本社所在地)のクリーンアップ作戦に参加しました。



所在地 神戸市中央区港島中町6丁目13番地4

【過去5年間(2005～2009年度)の環境負荷データ】

	単位	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
水の使用量	m ³	8,557	10,709	10,470	9,719	10,329
電力の消費量	kwh	1,270,250	1,339,456	1,529,414	1,459,853	1,415,976
CO ₂ 排出量	t			981	935	943

環境に関するご指摘

各事業所では、環境に配慮した生産を行うように努めておりますが、事業所近隣の方より、事業所内で気がつかないような環境影響について、ご指摘を受けることがございます。

このような近隣の方からのご指摘について、ひとつひとつ改善していくことで、より精度の高い環境管理を行っていきたいと考えております。

過去3年間(2007～2009年度)の、近隣の方からの環境に関するご指摘は、以下の通りです。

ご指摘内容	年度	事業所	対 策
排水処理場の臭気	2007	和田山工場	排水処理場の能力が低下したため、生産数量の調整、濃厚廃液・汚泥の産廃処理を行いました。
ヨーグルト排水処理場の臭気	2007	西宮工場	調整槽のプロアー時間の調整と排出量の調整を行いました。
エアー漏れの音	2008	和田山工場	エアーバルブの交換を行いました。異音について、機械の監視を継続しました。
ヨーグルト排水処理場の臭気	2008	西宮工場	発生源の汚水槽上部に「蓋」を取り付け、臭気の拡散防止を図りました。臭気発生状況の把握のため、1日あたりの巡回点検頻度を上げました。
夜間の構内放送の音	2008	関東工場	屋外に設置されていたスピーカーを撤去しました。
汚泥乾燥機からの臭気	2009	和田山工場	乾燥機の故障が原因でしたので、修理しました。また、臭気について監視を行いました。
年末にレンタルした冷凍機からの音	2009	和田山工場	すぐに冷凍機部分を断熱材で囲って応急処置を行い、業者に依頼して音が漏れないようにしました。
休日の工作機械の音	2009	西宮工場	休日の工作機械の使用を中止しました。やむを得ず工作機械を使用する場合は室内で使用し、防音に配慮しました。

環境保全に関する取り組みの歴史

1960	神戸市東灘区にて(株)富士昆布創業
1985	(株)富士昆布から現社名フジッコ株式会社へ社名変更 創業25周年を記念、全国に緑の松を植樹「フジッコ松」寄贈活動を開始
1994	フジッコワイナリー(株) 排水処理の汚泥を肥料として出荷開始 関東工場 食品廃棄物の一部を外部にて肥料化
1996	関東工場 嫌気性排水処理施設導入
1997	鳴尾生産事業部 嫌気性排水処理施設導入
1998	和田山工場 嫌気性排水処理施設導入 フジッコワイナリー(株) 焼却炉廃止
1999	和田山工場 焼却炉廃止
2001	和田山工場 ISO14001 認証取得 東京工場 ISO14001 認証取得 東京工場 嫌気性排水処理施設導入 関東工場 焼却炉廃止 フジッコワイナリー(株) 糖廃液を肥料の発酵促進剤として出荷開始 フジコン食品(株) 焼却炉廃止(全工場で小型焼却炉廃止)
2002	フジコン食品(株) ISO14001 認証取得 フジッコフーズ(株) 嫌気性排水処理施設導入 生産本部 環境管理委員会設置
2003	フジコン食品(株) 嫌気性排水処理施設導入 「2003環境報告書」発行(以降、毎年発行)
2004	関東工場 コージェネレーションシステム導入
2005	和田山工場 コージェネレーションシステム導入 フジッコフーズ(株) ナタデココ脱水機導入
2006	鳴尾生産事業部 灯油およびLPGを燃料とする設備を天然ガスに転換
2007	横浜工場 LPGを燃料とする設備を天然ガスに転換
2008	西宮工場 外装のシュリンク包装をPPバンド包装に転換 鳴尾生産事業部 外装のシュリンク包装をPPバンド包装に転換
2009	東京工場他 レトルト商品の包装を脱アルミ包装に転換 フジッコフーズ(株)他 デザートの内装ボール箱の軽量化

【排水処理施設の導入】

工場からの排水は、全工場排水処理施設により処理しております。また、より省エネルギーで運転でき、余剰汚泥の減少ができる嫌気性排水処理施設を鳴尾生産事業部、和田山工場、関東工場、東京工場、フジコン食品(株)、フジッコフーズ(株)に導入いたしました。

【焼却炉の廃止】

小型焼却炉を使用してゴミを焼却した場合、健康に悪影響を及ぼすダイオキシンが発生する恐れがありますので、2001年度に全ての工場の小型焼却炉を廃止いたしました。

【ISO14001認証取得】

2001年9月に、煮豆・佃煮業界では初めて和田山工場、東京工場がISO14001の認証を取得しました。また、2002年には、フジコン食品(株)がISO14001の認証を取得いたしました。

食よく、バランスよく。



<http://www.fujicco.co.jp/>

問い合わせ先

〒650-8558 神戸市中央区港島中町6丁目13番地4
フジッコ株式会社 経営企画室 Tel 078-303-5921